



きめられた日に忘れずに申告しましょう

市民・事業・所得税の 申告は3月16日までに

ことしも所得税、事業税、住民税の申告時期が近づいてきました
3月16日が申告期限です。

所得税の確定申告をしなければならぬ人には税務署から、個人事業税、個人住民税の申告をしなければならぬ人には、市役所から申告書が送付されます。

◆所得税の申告をされた人は、事業税、住民税の申告をする必要はありません。ですから所得税の申告をする必要のない人は、個人事業税、個人住民税の申告をしなければなりません。

◆所得税 前年中の所得について3月16日までに確定申告をしてください。

◆個人事業税 前年度中の事業所得について3月16日までに申告し8月12月の2期に分けて納めていただきます。

◆個人住民税 市民税と道民税を併せ課税され、3月16日まで申告をしていただき年4期に分けて納めていただきます。

なお、所得税については税務所へ、個人事業税は支庁税務課へ、個人住民税については市役所税務課へ、お問い合わせください。

個人住民税・事業税の申告日程

区分	25	26	27	28	29	30	31	3月16日	3月17日
交付期	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所
納付期	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所
納付場所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所
納付時間	10時～17時	10時～17時	10時～17時	10時～17時	10時～17時	10時～17時	10時～17時	10時～17時	10時～17時

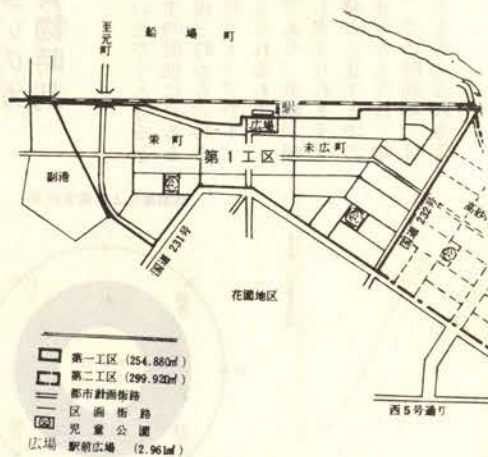


歩道橋が付設される春日町地区

また、花園川改修工事に六百八十万円。
昨年からのスタートした駅前地区土地画整理事業は、第一工区、第二工区に分けられていますが、その第一工区は四十九年完了を目標に進められ、この工事費として八百十四万円が計上されています。

また、少いといわれる公営住宅の建設は、現在市内に千戸以上の公営住宅があるが、より住宅難を緩和するために、まず土地の確保から始めなければなりません。このため建設関係を除き、一般公営住宅用地購入として七百二十二万円、低家賃住宅用地など含めて、二千六百四十万四千円を。また、留萌小学校の火災の復旧に伴う、教材費など占めて五百万円。

駅前地区土地画整理事業の第1工区事業は、49年完成を目標にスタートする。



45年度一般会計歳出予算

	(千円)
議会費	27,558
総務費	320,411
民生費	252,316
衛生費	39,733
労働費	83,903
農林産業費	48,065
商工費	12,451
土木費	273,866
消防費	15,644
教育費	289,486
公債費	150,159
諸支出金	3,955
職員給与費	371,630
道路災害復旧費	4,670
予備費	30,958
合計	1,924,805

七日は消防記念日です。
昭和二十三年に現在の消防体制が樹立された「消防組織法」が施行され、この日を記念してもうけられたものです。
八日は国際婦人デーです。
十五日は、日本万国博覧会開場日です。
世界の科学の祭典がいよいよスタートするわけですね。
「人類の進歩と調和」が世界中にどう反映するか、世界中の眼がこの島国日本に向けられるのです。二十一日は春分の日です。
むかしから「暑さ寒さも彼岸まで」といわれ、気温も日まじに上るなどといわれますが、留萌地方には、まだまだ遠いことですね。なにはともあれ、三月は忙しい月です。
新入学児童のいるご家庭、幼稚園にかよっていたお子さんが一年生になる、楽しみも多いかわりにおざなりになりがちなのが健康です。
みなで健康管理には、十分な注意を……



道北の経済を担うまでに発展した留萌港

留萌市の昭和四十五年度予算は一般会計で、昨年を八・九パーセント上回る総額十九億二千四百万円になりました。
この中には、留萌小学校の第三期工事、春日町の歩道橋設置、道路の舗装など、その三分の一は、留萌市の明るい街づくりに活用されるものです。
しかし、今年度は、市長選挙などの関係もあり、政策予算は新市長の施策に残され、骨格予算ならに継続事業費のみが決定をみたものです。
しかし、国の地方交付税などの基準が示されないことなどもあり算定はむずかしいが、ほぼ四十四年度の基準にしたがって編成されたものです。
収入の面では、市税四億一千五百六十三万六千円が見込まれ、昨年の三億六千四百八十八万九千円を五千四百四十七万七千円上廻っています。
また、大きなものとして、地方交付税が昨年四億三千万円に対し四十五年度では、約七千万円上積みし五億四千六百六十万円を算定。また、国庫支出金は、昨年三億七千八百四十五万九千円を三億一千五百四十九万七千円で、昨年度を幾分下廻っています。
その他、諸収入三億三千二百二十六万六千円、市債一億二千三百七十七万六千円が見込まれ、総額十九億二千四百八十五万五千円（四十四年度十九億四千二百八十五万五千円）が、昭和四十五年度一般会計総予算となり、いろいろな街づくりなどの行政が進められる訳です。

道路舗装や春日町に歩道橋など

一方、支出の方では、当初予算に算入した継続的性格をもった政策的なものとして、市有林経営事業に八百五十五万二千円、また、社会的問題として、クローズアップされている交通問題に対処するための交通安全対策費百八十万円を特に計上し、安全対策の強化をねらい、交通安全教室を積極的に活用し、外頭指導などを積極的に進めようというものです。
また、失業対策事業費八百六十万四千円、水産構造改善事業費二千二百五十七万二千円。



第3期工事が待たれる留萌小学校

しかし、工事関係では、前年度からの継続事業として、千鳥町・南町間迂迴道路五百メートル舗装に九百四十万円、南山手通りの舗装、排水溝工事二ヶ所で四百七十七万円。
アサリベツ線の歩道二百メートル新設で二百二十万円。
春日町踏切横断歩道橋は、昨年開発建設部の手によって行なわれた産業道路の新設によって、歩道橋が完成されたが、これに付随して、国鉄線を通る歩道橋を設置するため六百五十万円を計上。
最近、臨海基地などで、ともに交通量の増したこの地区の交通問題を解決しようというものです。
こよみの上では立春を迎え、南の方からは梅や桜の便りがチラホラと聞かれるようになりました。でも、北国の留萌地方では、まだまだ先のことですね。
さて、お母さん、お子さんの入学、進学、就職の準備は、進んでいますか。
逃げる月といわれる二月も、もうすぐ過ぎます。
しかし、三月に入りますと、いよいよ春はそこまでの感が強くなりますね。
さて、三月三日は「ひなまつり」あるいは「桃の節句」ともいわれます。
もともとは、中国から輸入されたもので、我が国で盛んになったのは、徳川時代からといわれます。
また、この日は「耳の日」です。三月三日の「三」が「みみ（耳）」に通ずることから、この日を「耳の日」と定められました。
耳は眼とともに、私たちの日常生活にかけがえのないものですが耳の方は案外ひとに目立たないせいか、簡単に耳が少し遠いぐらいにしか考えていない人が多いようです。
一度、検診してみても……

45年度一般会計予算まとまる

総額十九億二千四百万円に――

季節の
こよみ